

---

建設業経営革新実態調査業務  
集計報告書

---

---

---

# 建設業経営革新実態調査

## 目次

1. 調査概要 .....	1
2. 集計結果 .....	2
I. 調査対象企業の概要について .....	2
II. 調査対象企業の現状について .....	6
III. 経営革新への取り組みについて .....	13
IV. 経営革新への今後の取り組みについて .....	14
V. 新分野へ進出している企業の状況について .....	15
VI. 新分野への進出を検討している企業の状況について .....	22
VII. 新分野から撤退した企業の状況について .....	26
VIII. 新分野への進出の意思がない企業の状況について .....	29
IX. 新分野進出にあたり行政に望むことについて .....	30
X. 貴県の支援制度について .....	31
3. 総括 .....	33
4. 調査票 .....	34

---

---

---

# 1. 調査概要

---

## 1. 調査対象

貴県指定の高知県内の建設業者 1,369 社に対して調査を実施。

## 2. 回答件数・回答率

598 件/1,369 件(43.7%)

※回答はいずれかの質問に 1 つでも回答があった企業をカウントしております。

※集計については、各設問の回答数を母数として行っております。

## 3. 調査方法

郵送調査およびフォローコールの実施

## 4. 調査実施期間

2016 年 6 月 22 日(水)～7 月 11 日(月)

## 5. 調査実施機関

株式会社帝国データバンク

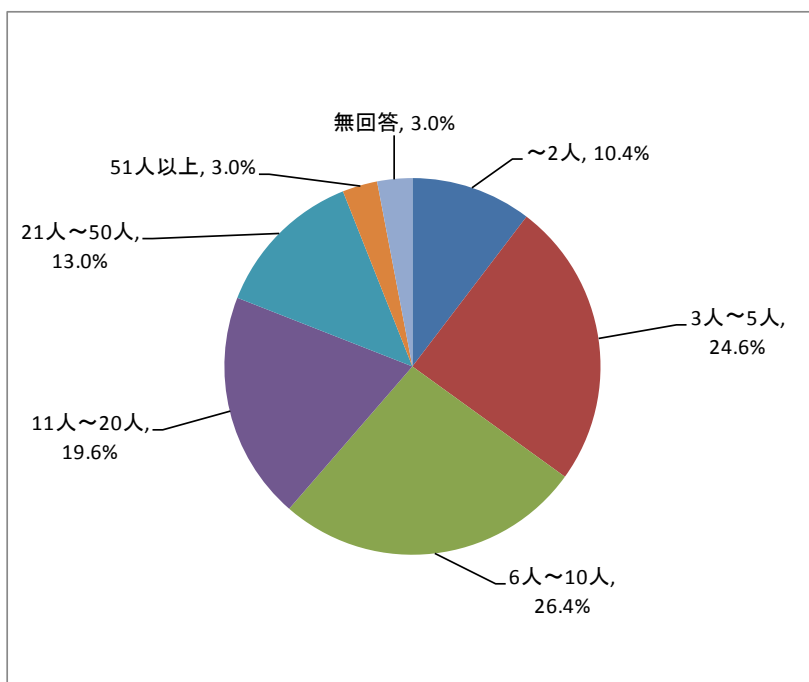
## 2. 集計結果

### 1. 調査対象企業の概要について

1. 貴社概要についてお答え下さい  
(3)従業員数

従業員数は「6人～10人」が26.4%で最も多く、「3人～5人」が24.6%となり、10人以下の企業が61.4%を占める。

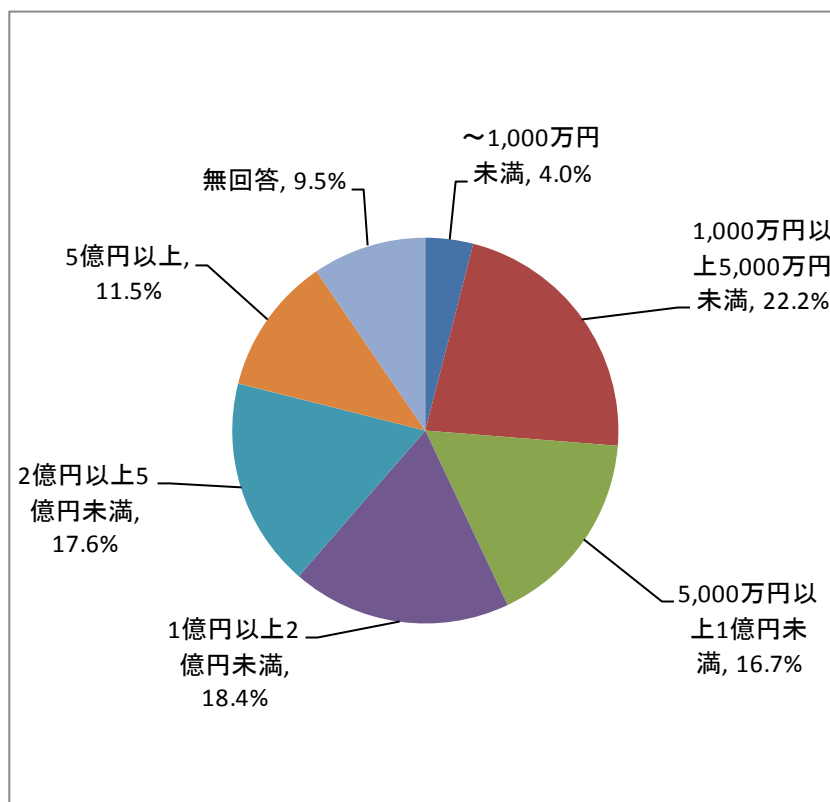
結果	件数	構成比率
1. ～2人	62 件	10.4%
2. 3人～5人	147 件	24.6%
3. 6人～10人	158 件	26.4%
4. 11人～20人	117 件	19.6%
5. 21人～50人	78 件	13.0%
6. 51人以上	18 件	3.0%
無回答	18 件	3.0%
合計	598 件	100.0%



1. 貴社概要についてお答え下さい  
 (6)年間売上 (建設業によるもの)

建設業による売上高は「1,000万円以上 5,000万円未満」が最も多く 22.2%、「1億円以上 2億円未満」が 18.4%、「2億円以上 5億円未満」の企業が 17.6%と続き、2億円未満が過半数を占める。

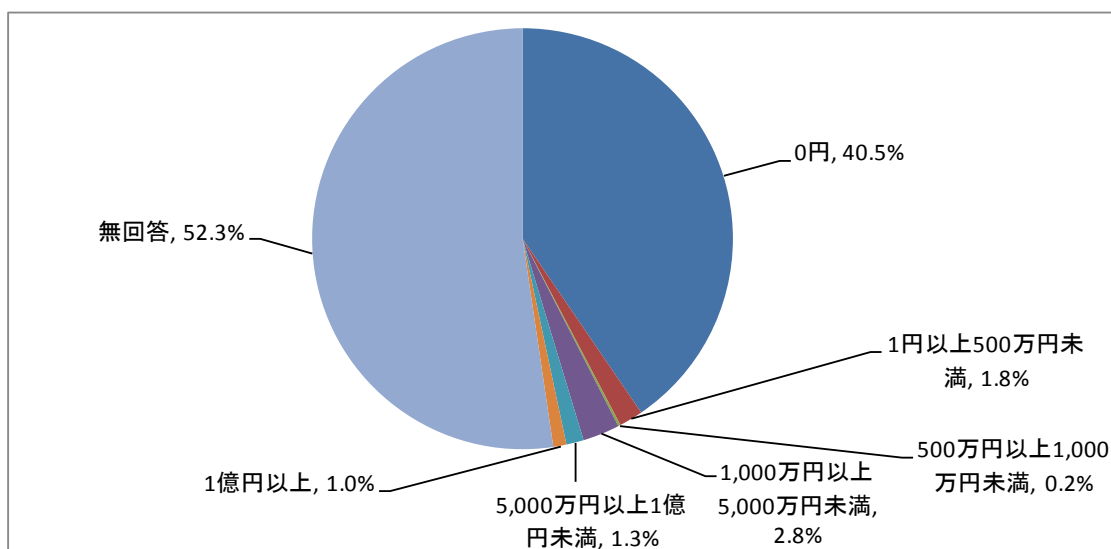
結果	件数	構成比率
1. ~1,000万円未満	24 件	4.0%
2. 1,000万円以上5,000万円未満	133 件	22.2%
3. 5,000万円以上1億円未満	100 件	16.7%
4. 1億円以上2億円未満	110 件	18.4%
5. 2億円以上5億円未満	105 件	17.6%
6. 5億円以上	69 件	11.5%
無回答	57 件	9.5%
合計	598 件	100.0%



1. 貴社概要についてお答え下さい  
 (7)年間売上(新分野進出によるもの)

新分野進出による売上高は「無回答」52.3%、「0円」40.5%の合計で92.8%を占める。

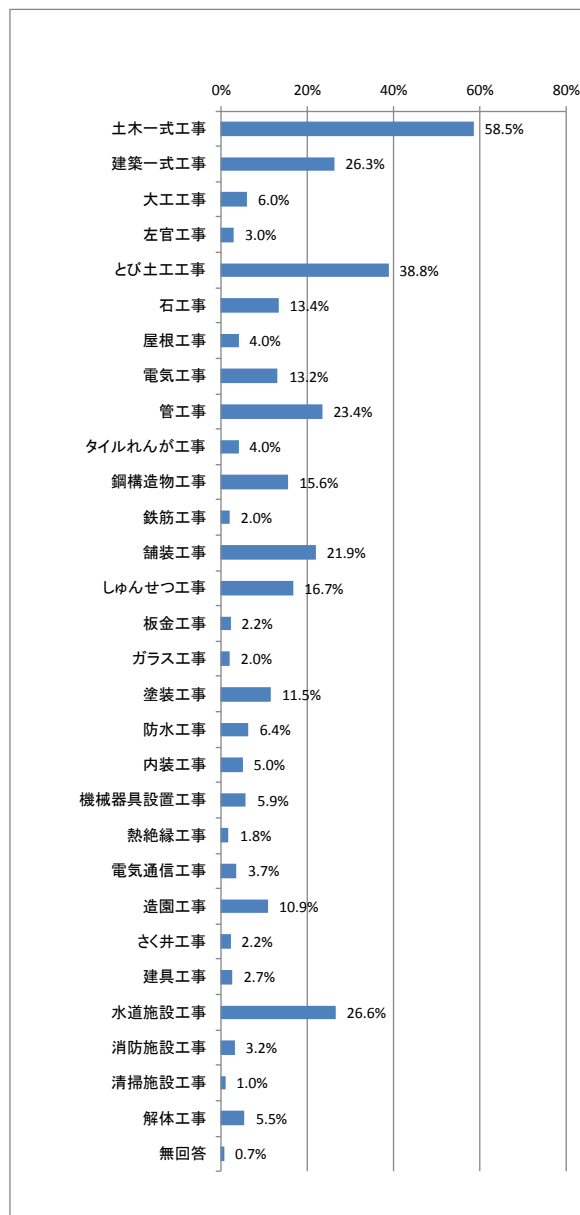
結果	件数	構成比率
1. 0円	242 件	40.5%
2. 1円以上500万円未満	11 件	1.8%
3. 500万円以上1,000万円未満	1 件	0.2%
4. 1,000万円以上5,000万円未満	17 件	2.8%
5. 5,000万円以上1億円未満	8 件	1.3%
6. 1億円以上	6 件	1.0%
無回答	313 件	52.3%
合計	598 件	100.0%



1. 貴社概要についてお答え下さい

(8)業種 あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

結果	件数	構成比率
ア. 土木一式工事	350 件	58.5%
イ. 建築一式工事	157 件	26.3%
ウ. 大工工事	36 件	6.0%
エ. 左官工事	18 件	3.0%
オ. とび土工事	232 件	38.8%
カ. 石工事	80 件	13.4%
キ. 屋根工事	24 件	4.0%
ク. 電気工事	79 件	13.2%
ケ. 管工事	140 件	23.4%
コ. タイルれんが工事	24 件	4.0%
サ. 鋼構造物工事	93 件	15.6%
シ. 鉄筋工事	12 件	2.0%
ス. 舗装工事	131 件	21.9%
セ. しゅんせつ工事	100 件	16.7%
ソ. 板金工事	13 件	2.2%
タ. ガラス工事	12 件	2.0%
チ. 塗装工事	69 件	11.5%
ツ. 防水工事	38 件	6.4%
テ. 内装工事	30 件	5.0%
ト. 機械器具設置工事	35 件	5.9%
ナ. 熱絶縁工事	11 件	1.8%
ニ. 電気通信工事	22 件	3.7%
ヌ. 造園工事	65 件	10.9%
ネ. さく井工事	13 件	2.2%
ノ. 建具工事	16 件	2.7%
ハ. 水道施設工事	159 件	26.6%
ヒ. 消防施設工事	19 件	3.2%
フ. 清掃施設工事	6 件	1.0%
ヘ. 解体工事	33 件	5.5%
無回答	4 件	0.7%
合計	598 社	-



## II. 調査対象企業の現状について

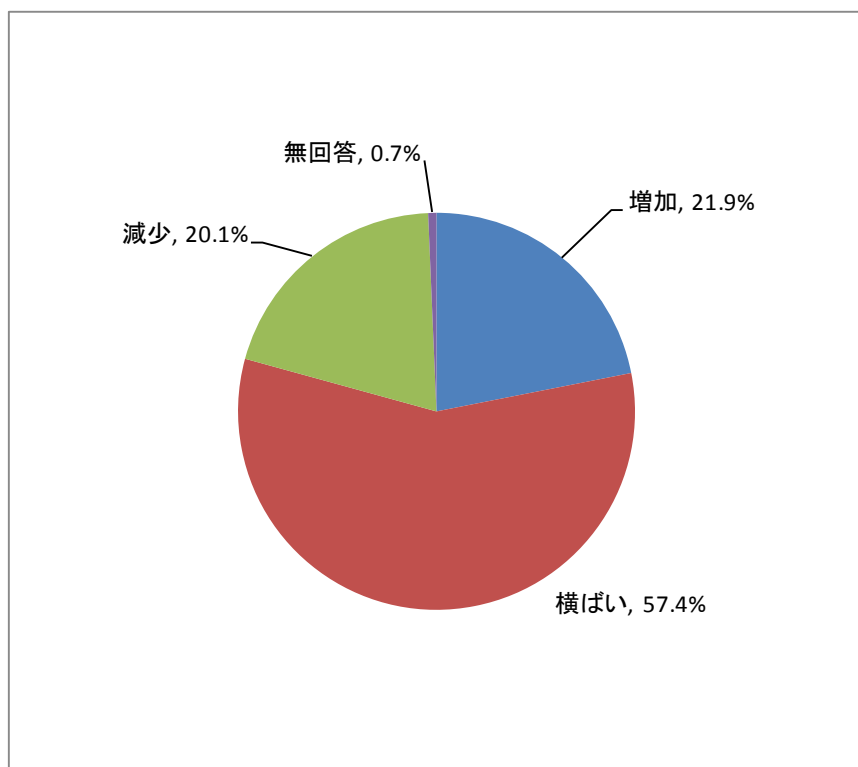
II. 貴社の現状についてお答え下さい

(1) 貴社の3年前と比べた建設業の状況についてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

3年前と比較した従業員数は、「横ばい」が57.4%と最も多く過半数を占める。

a 従業員数

結果	件数	構成比率
1. 増加	131 件	21.9%
2. 横ばい	343 件	57.4%
3. 減少	120 件	20.1%
無回答	4 件	0.7%
合計	598 件	100.0%

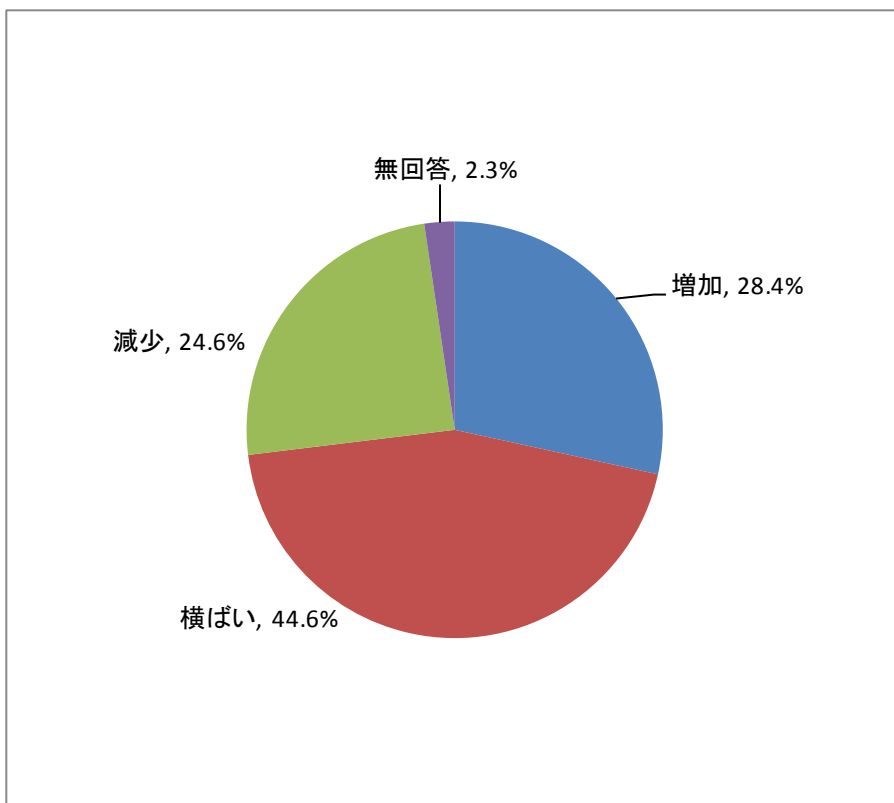




3年前と比較した売上高は、「横ばい」が44.6%と最も多く、増加が28.4%、減少が24.6%と続いた。

b 売上高

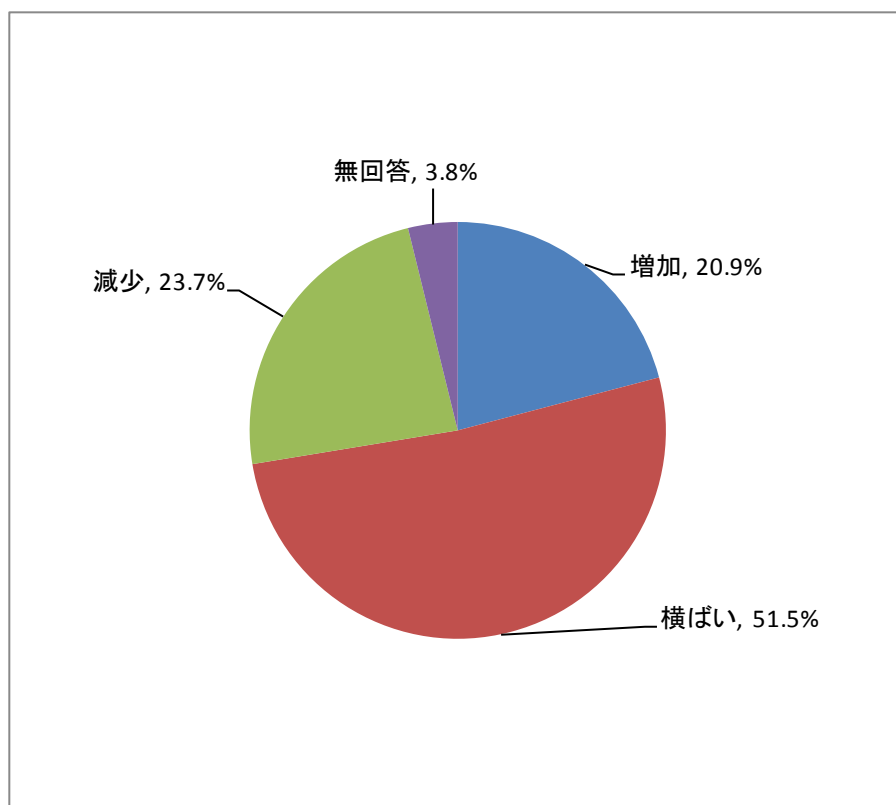
結果	件数	構成比率
1. 増加	170 件	28.4%
2. 横ばい	267 件	44.6%
3. 減少	147 件	24.6%
無回答	14 件	2.3%
合計	598 件	100.0%



3年前と比較した設備投資は、「横ばい」が51.5%と最も多く過半数を占める。

c 設備投資

結果	件数	構成比率
1. 増加	125 件	20.9%
2. 横ばい	308 件	51.5%
3. 減少	142 件	23.7%
無回答	23 件	3.8%
合計	598 件	100.0%

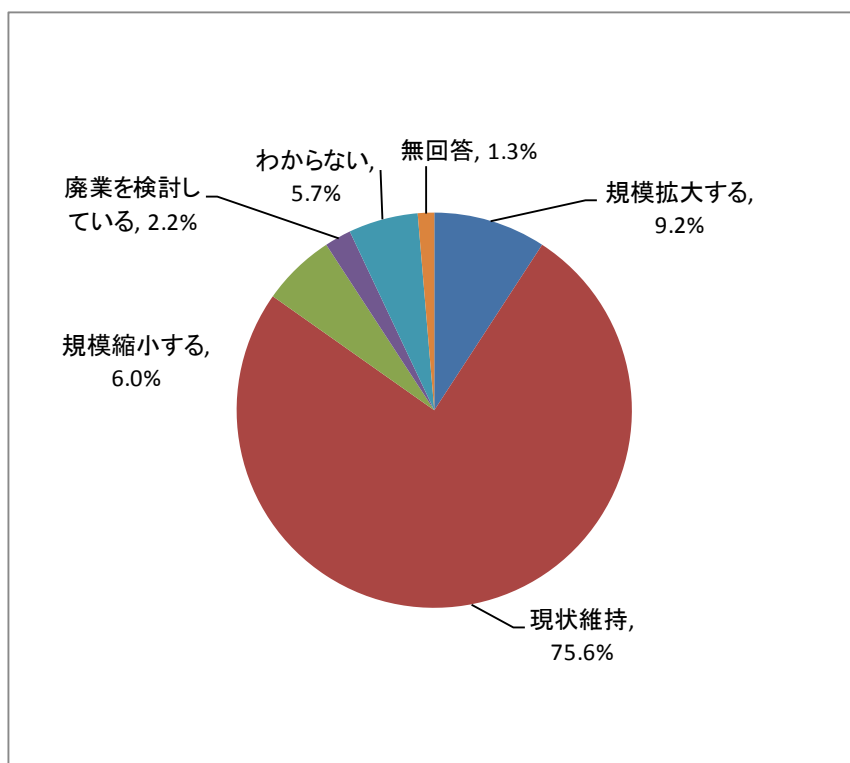


II. 貴社の現状についてお答え下さい

(2) 貴社の建設業の見通しについてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

建設業の今後の見通しについては、「現状維持」が75.6%と最も多くを占める。

結果	件数	構成比率
ア. 規模拡大する	55 件	9.2%
イ. 現状維持	452 件	75.6%
ウ. 規模縮小する	36 件	6.0%
エ. 廃業を検討している	13 件	2.2%
オ. わからない	34 件	5.7%
無回答	8 件	1.3%
合計	598 件	100.0%

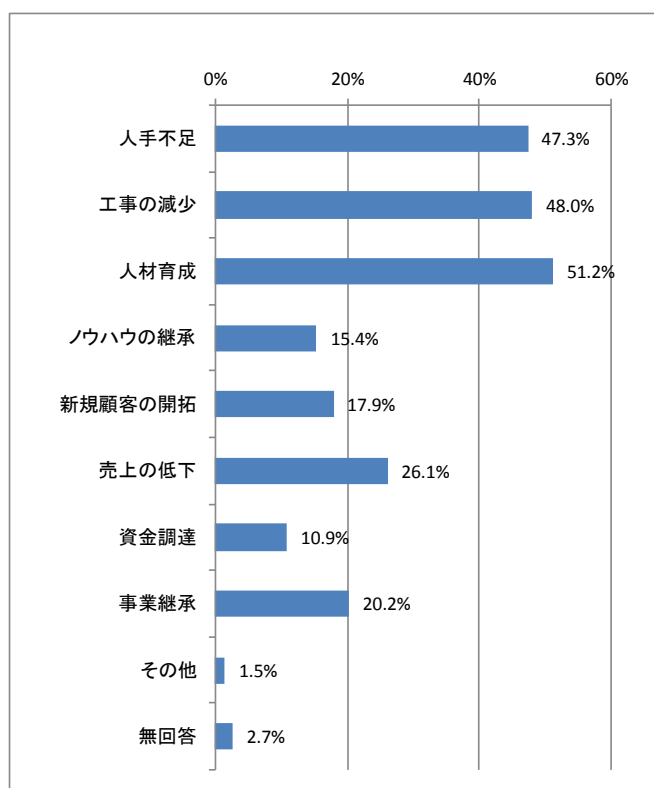


II. 貴社の現状についてお答え下さい

(3) 貴社の建設業での課題についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

建設業に関する課題について、「人材育成」が51.2%と最も多く、「工事の減少」が48.0%、「人手不足」が47.3%と続いた。「人材」に関する課題を抱えた事業者が多いことがうかがえる。

結果	件数	構成比率
ア. 人手不足	283 件	47.3%
イ. 工事の減少	287 件	48.0%
ウ. 人材育成	306 件	51.2%
エ. ノウハウの継承	92 件	15.4%
オ. 新規顧客の開拓	107 件	17.9%
カ. 売上の低下	156 件	26.1%
キ. 資金調達	65 件	10.9%
ク. 事業継承	121 件	20.2%
ケ. その他	9 件	1.5%
無回答	16 件	2.7%
合計	598 社	-

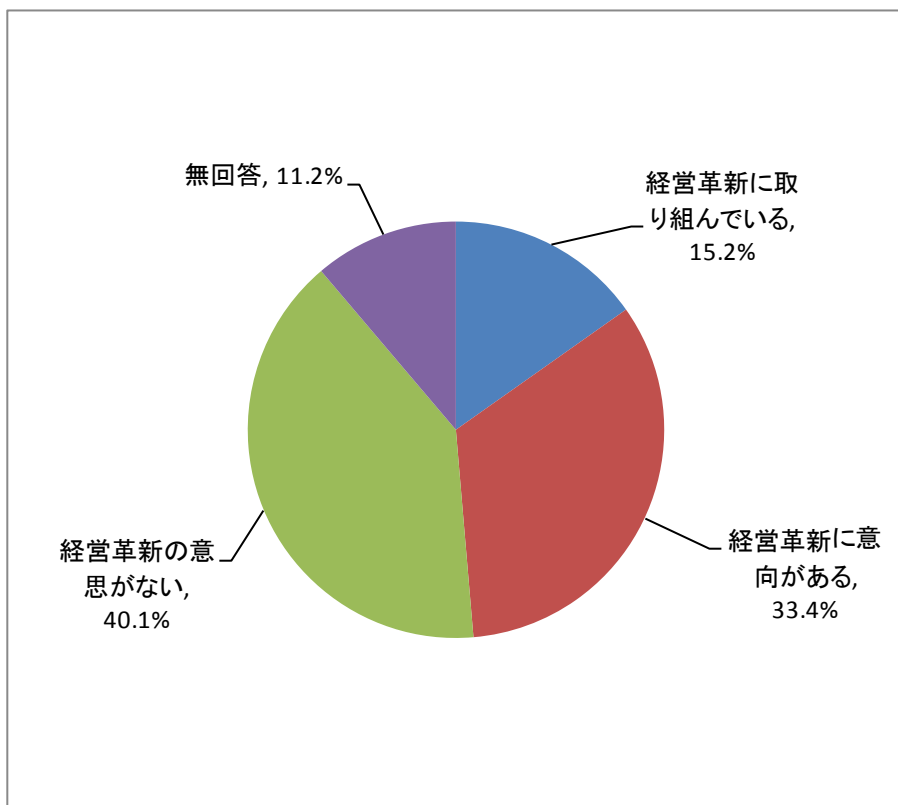


II. 貴社の現状についてお答え下さい

(4) 貴社の経営革新の取り組みについてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

経営革新への取り組みについては、「経営革新に取り組んでいる」が15.2%、「経営革新に意向がある」が33.4%となり、前向きな回答の合計が48.6%となった。2つの回答合計は「経営革新の意思がない」の40.1%を上回っており、経営革新の意思がある事業者が多いことがうかがえる。

結果	件数	構成比率
ア. 経営革新に取り組んでいる	91 件	15.2%
イ. 経営革新に意向がある	200 件	33.4%
ウ. 経営革新の意思がない	240 件	40.1%
無回答	67 件	11.2%
合計	598 件	100.0%

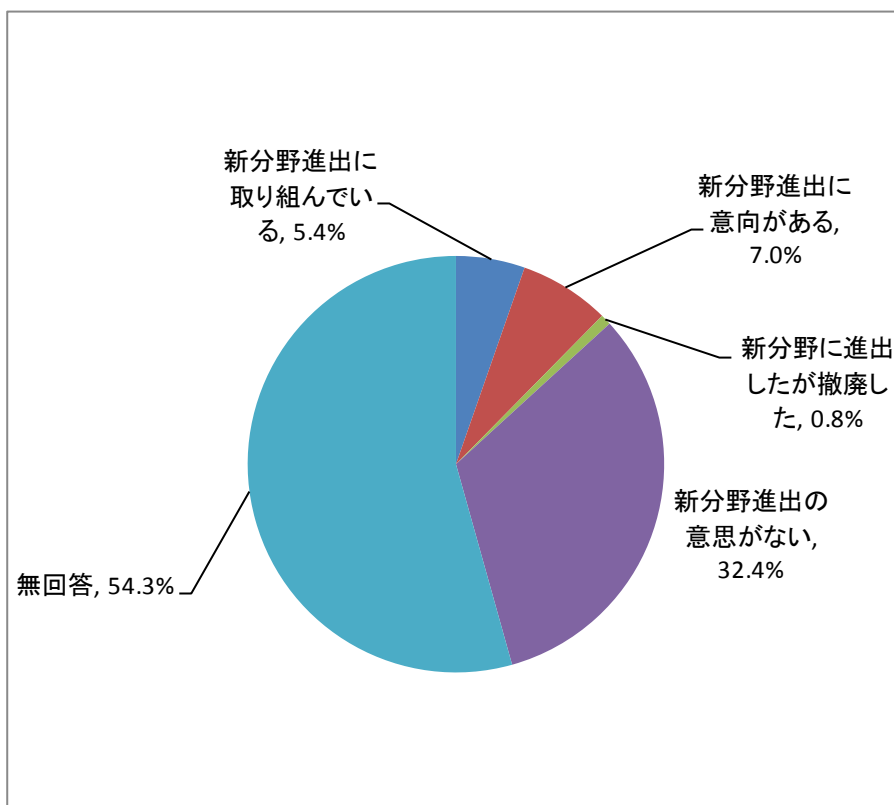


II. 貴社の現状についてお答え下さい

(5) 貴社の新分野進出の取り組みについてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

新規分野への進出の取り組みについては「新規分野進出の意思がない」が32.4%と最も多く、新規分野への進出に意思がある事業者は「取り組んでいる」、「意向がある」を合わせて12.4%となっている。

結果	件数	構成比率
ア. 新分野進出に取り組んでいる	32 件	5.4%
イ. 新分野進出に意向がある	42 件	7.0%
ウ. 新分野に進出したが撤廃した	5 件	0.8%
エ. 新分野進出の意思がない	194 件	32.4%
無回答	325 件	54.3%
合計	598 件	100.0%



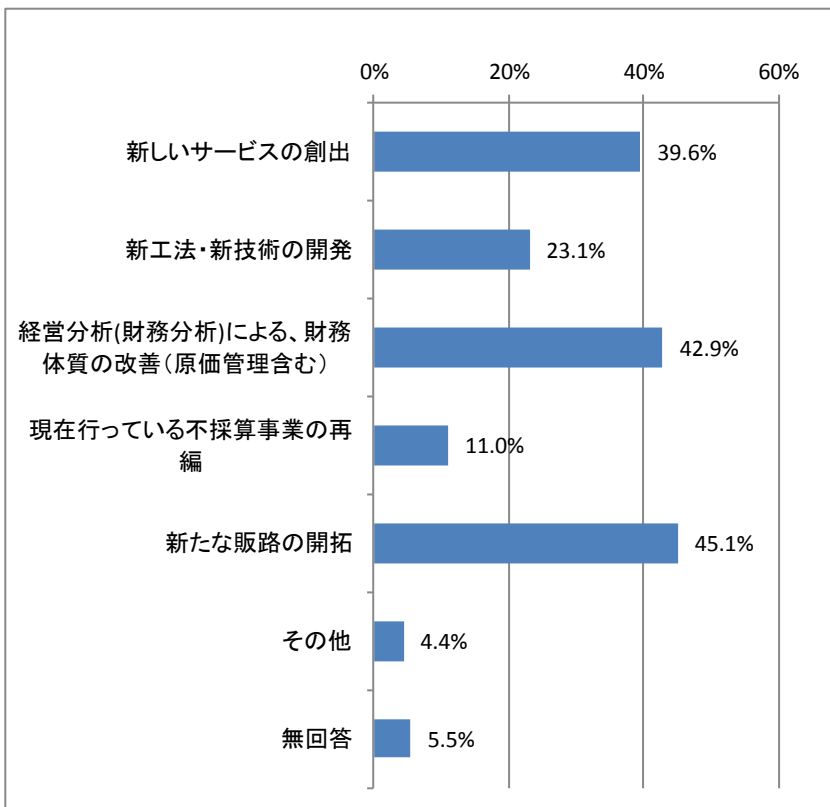
### Ⅲ. 経営革新への取り組みについて（問Ⅱ-(4)で(ア)と回答した場合）

Ⅲ. 貴社の経営革新への取り組みについてお答え下さい

現在取り組んでいる経営革新に該当するものについてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

環境変化などに対応し、企業を成長させるための経営革新の取り組み内容は、「新たな販路の開拓」が45.1%と最も多く、「経営分析(財務分析)による、財務体質の改善(原価管理含む)」が42.9%、「新しいサービスの創出」39.6%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 新しいサービスの創出	36 件	39.6%
イ. 新工法・新技術の開発	21 件	23.1%
ウ. 経営分析(財務分析)による、財務体質の改善（原価管理含む）	39 件	42.9%
エ. 現在行っている不採算事業の再編	10 件	11.0%
オ. 新たな販路の開拓	41 件	45.1%
カ. その他	4 件	4.4%
無回答	5 件	5.5%
合計	91 社	-



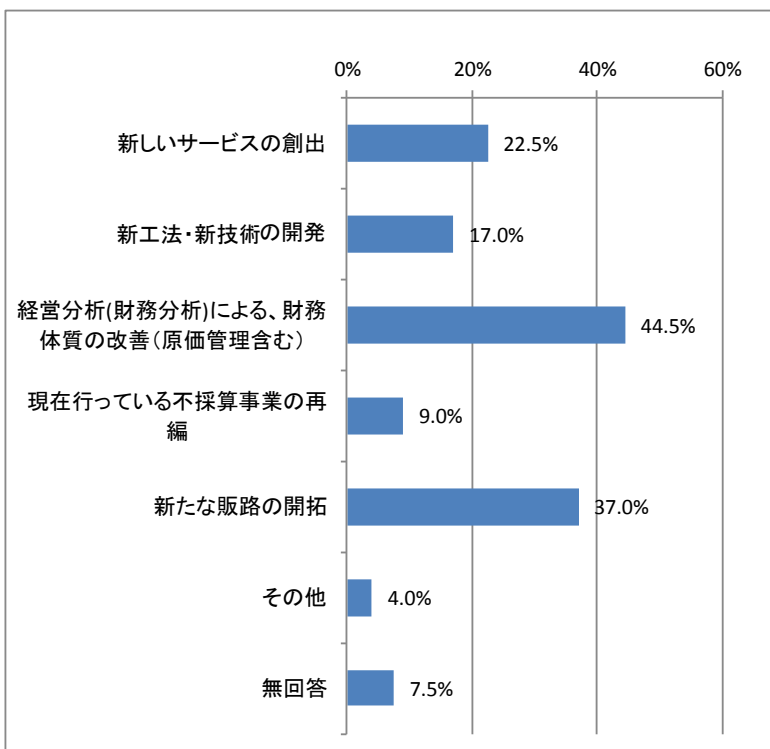
#### IV. 経営革新への今後の取り組みについて（問Ⅱ-(4)で(イ)と回答した場合）

IV. 貴社の経営革新への今後の取り組みについてお答え下さい

貴社が検討している経営革新に関連するものについてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

環境変化などに対応し、企業を成長させるための経営革新への今後の取り組み意向は、「経営分析(財務分析)による、財務体質の改善(原価管理含む)」が44.5%と最も多く、「新たな販路の開拓」が37.0%、「新しいサービスの創出」22.5%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 新しいサービスの創出	45 件	22.5%
イ. 新工法・新技術の開発	34 件	17.0%
ウ. 経営分析(財務分析)による、財務体質の改善(原価管理含む)	89 件	44.5%
エ. 現在行っている不採算事業の再編	18 件	9.0%
オ. 新たな販路の開拓	74 件	37.0%
カ. その他	8 件	4.0%
無回答	15 件	7.5%
合計	200 社	-





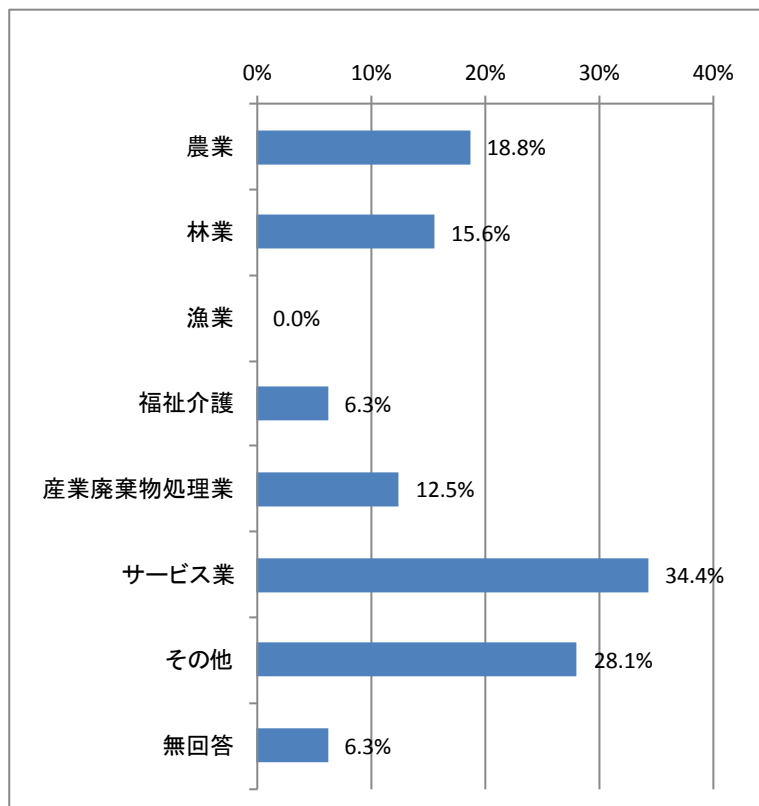
## V. 新分野へ進出している企業の状況について（問Ⅱ-(5)で(ア)と回答した場合）

V. 新分野へ進出している方への質問です

(1)進出している分野についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

既に新分野に進出している事業者の進出分野については、「サービス業」が34.4%と最多く、「その他」が28.1%、「農業」が18.8%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 農業	6 件	18.8%
イ. 林業	5 件	15.6%
ウ. 漁業	0 件	0.0%
エ. 福祉介護	2 件	6.3%
オ. 産業廃棄物処理業	4 件	12.5%
カ. サービス業	11 件	34.4%
キ. その他	9 件	28.1%
無回答	2 件	6.3%
合計	32 社	-

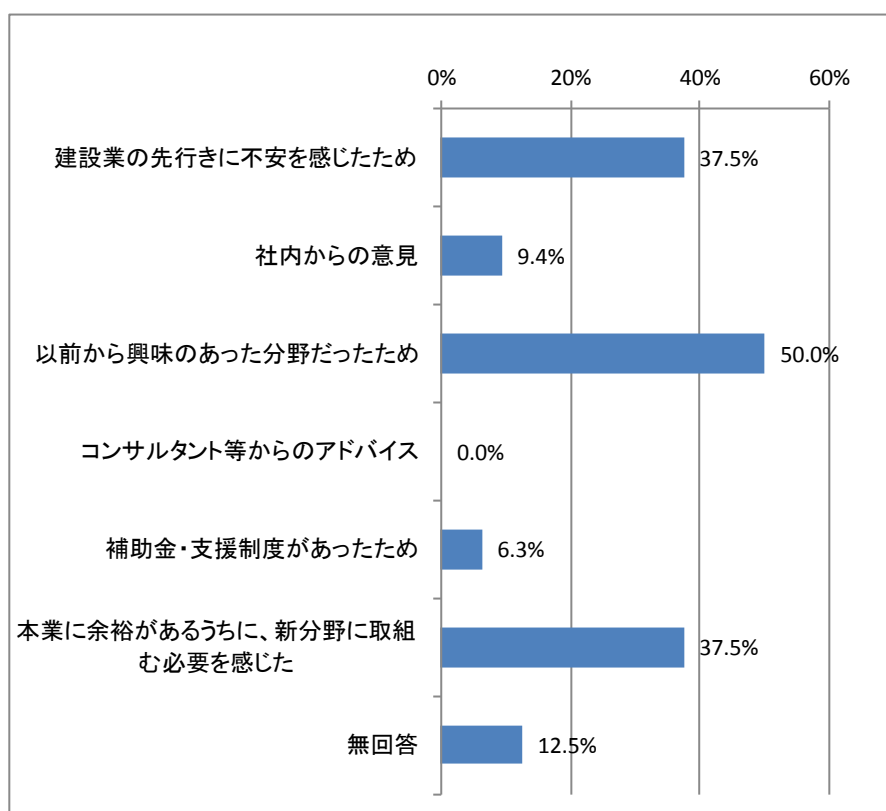


V. 新分野へ進出している方への質問です

(2)進出した理由、きっかけについてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

既に新分野に進出している事業者の進出分野進出のきっかけについては、「以前から興味のある分野だったため」が50.0%と最多く、「本業に余裕があるうちに、新分野に取り組む必要を感じた」が37.5%、「建設業の先行きに不安を感じたため」が37.5%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 建設業の先行きに不安を感じたため	12 件	37.5%
イ. 社内からの意見	3 件	9.4%
ウ. 以前から興味のある分野だったため	16 件	50.0%
エ. コンサルタント等からのアドバイス	0 件	0.0%
オ. 補助金・支援制度があったため	2 件	6.3%
カ. 本業に余裕があるうちに、新分野に取り組む必要を感じた	12 件	37.5%
無回答	4 件	12.5%
合計	32 社	-

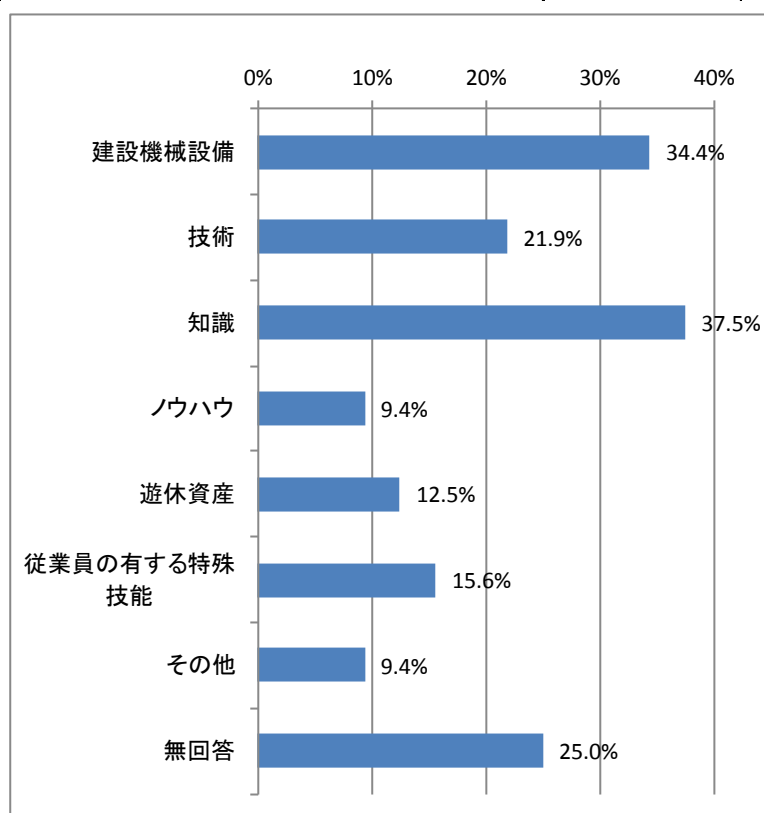


V. 新分野へ進出している方への質問です

(3)進出に活用できた経営資源についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

既に新分野に進出している事業者が進出に活用できた経営資源については、「知識」が37.5%と最も多く、「建設機械設備」が34.4%、「技術」が21.9%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 建設機械設備	11 件	34.4%
イ. 技術	7 件	21.9%
ウ. 知識	12 件	37.5%
エ. ノウハウ	3 件	9.4%
オ. 遊休資産	4 件	12.5%
カ. 従業員の有する特殊技能	5 件	15.6%
キ. その他	3 件	9.4%
無回答	8 件	25.0%
合計	32 社	-

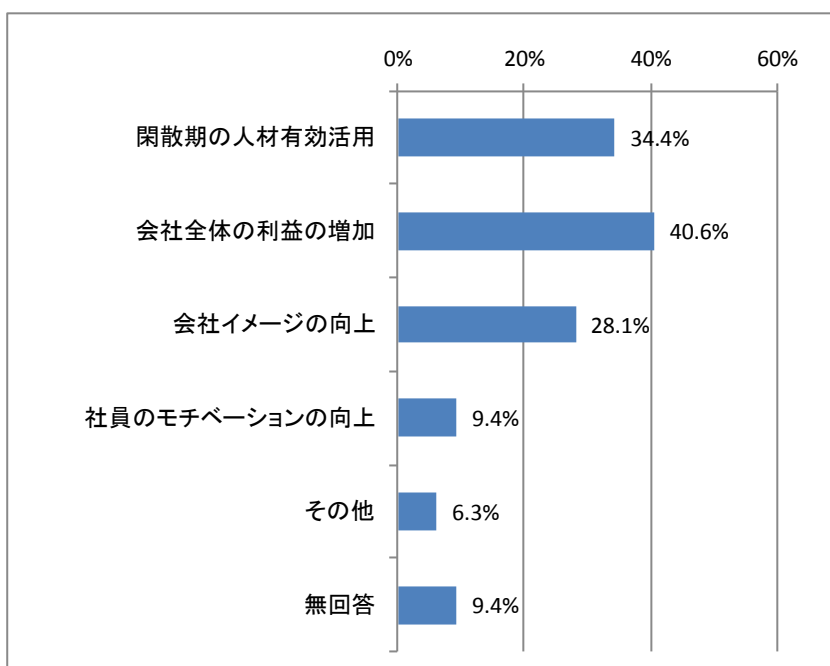


V. 新分野へ進出している方への質問です

(4)進出によって得られたメリットについてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

既に新分野に進出している事業者が進出によって得られたメリットについては、「会社全体の利益の増加」が40.6%と最も多く、「閑散期の人材活用」が34.4%、「会社イメージの向上」が28.1%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 閑散期の人材有効活用	11 件	34.4%
イ. 会社全体の利益の増加	13 件	40.6%
ウ. 会社イメージの向上	9 件	28.1%
エ. 社員のモチベーションの向上	3 件	9.4%
オ. その他	2 件	6.3%
無回答	3 件	9.4%
合計	32 社	-

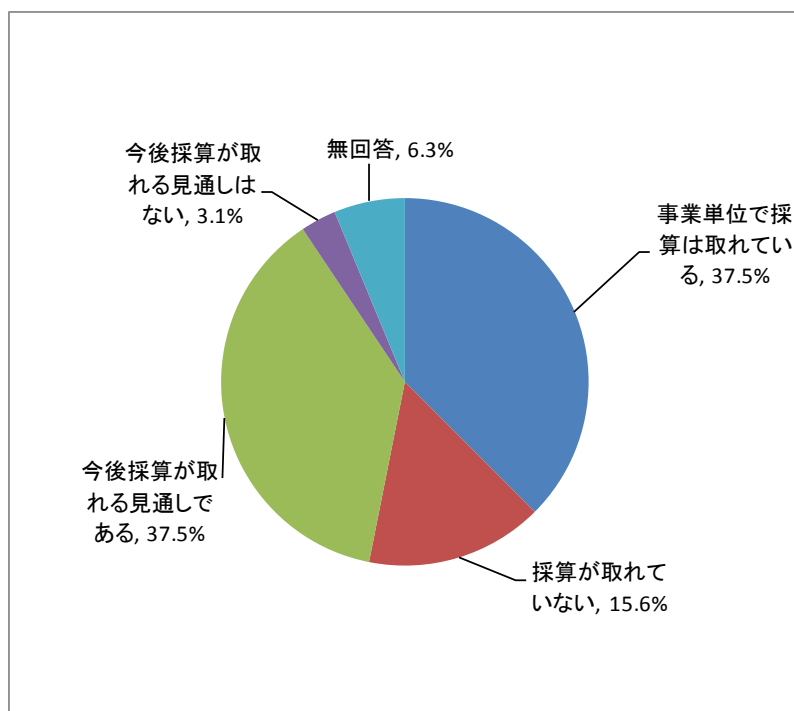


V. 新分野へ進出している方への質問です

(5)新分野事業の経営状況についてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

既に新分野に進出している事業者の進出分野の経営状況については、「事業単位で採算は取れている」が37.5%、「今後採算が取れる見通しである」が37.5%と良好な状態である企業が75%を占める。

結果	件数	構成比率
ア. 事業単位で採算は取れている	12 件	37.5%
イ. 採算が取れていない	5 件	15.6%
ウ. 今後採算が取れる見通しである	12 件	37.5%
エ. 今後採算が取れる見通しはない	1 件	3.1%
無回答	2 件	6.3%
合計	32 件	100.0%

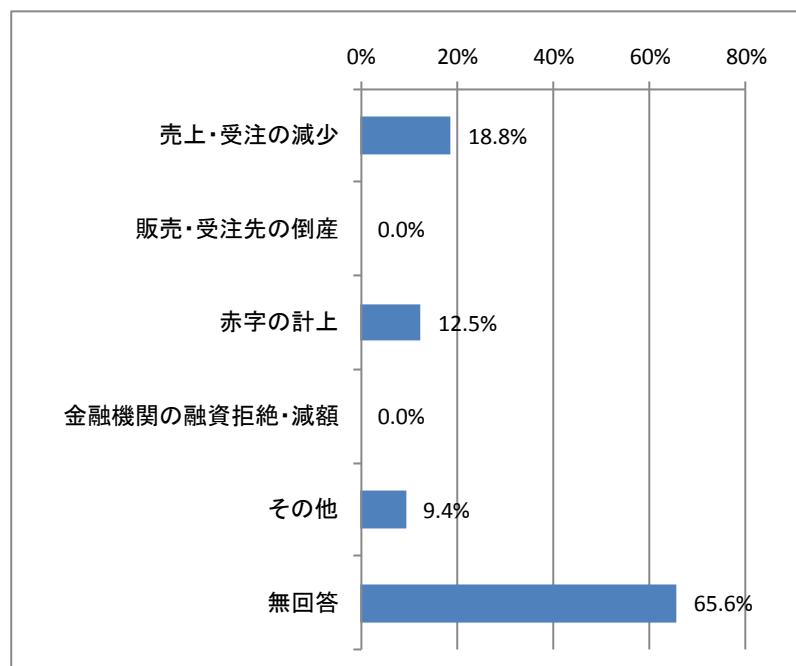


V. 新分野へ進出している方への質問です

(6)事業単位で採算が取れていない・見通しが不明な理由についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

既に新分野に進出している事業者のうち事業単位で採算が取れていない企業の理由については、「売上・受注の減少」が18.8%と最も多く、「赤字の計上」が12.5%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 売上・受注の減少	6 件	18.8%
イ. 販売・受注先の倒産	0 件	0.0%
ウ. 赤字の計上	4 件	12.5%
エ. 金融機関の融資拒絶・減額	0 件	0.0%
オ. その他	3 件	9.4%
無回答	21 件	65.6%
合計	32 社	-

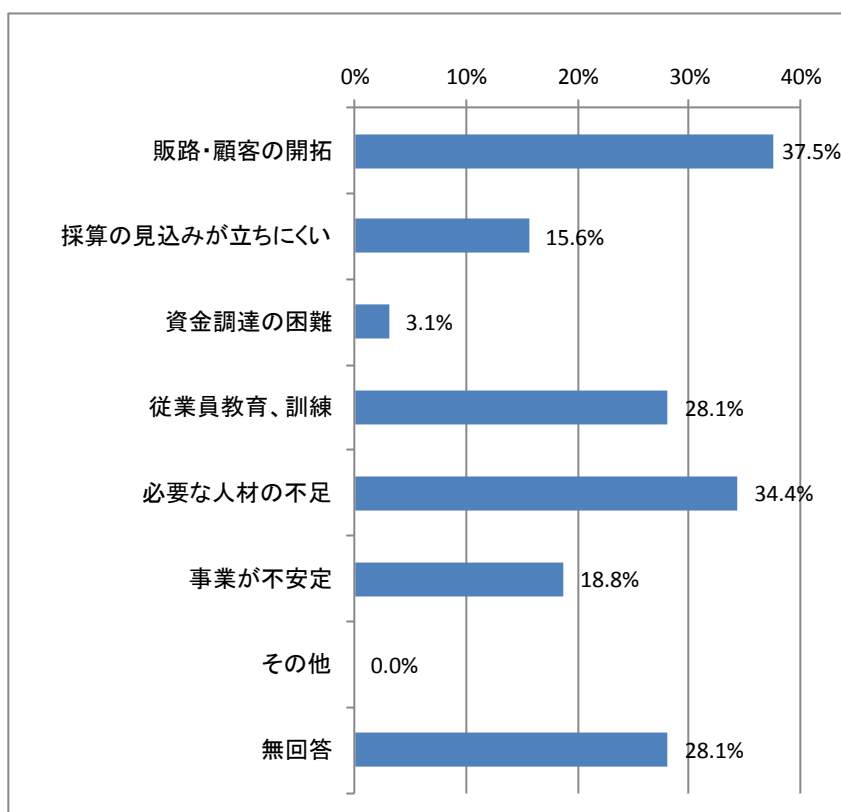


V. 新分野へ進出している方への質問です

(7)進出した上での課題についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

既に新分野に進出している事業者について、新分野へ進出した上での課題については「販路・顧客の開拓」が37.5%と最多く、「必要な人材の不足」が34.4%、「従業員教育・訓練」が28.1%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 販路・顧客の開拓	12 件	37.5%
イ. 採算の見込みが立ちにくい	5 件	15.6%
ウ. 資金調達の困難	1 件	3.1%
エ. 従業員教育、訓練	9 件	28.1%
オ. 必要な人材の不足	11 件	34.4%
カ. 事業が不安定	6 件	18.8%
キ. その他	0 件	0.0%
無回答	9 件	28.1%
合計	32 社	-



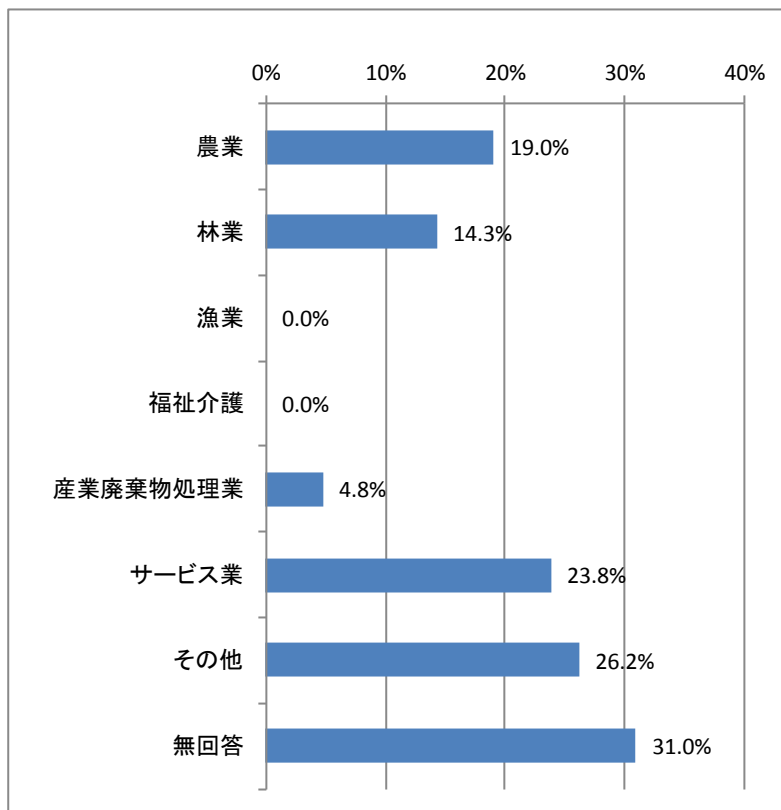
## VI. 新分野への進出を検討している企業の状況について（問Ⅱ-(5)で(イ)と回答した場合）

VI. 新分野へ進出を検討されている方への質問です

(1)進出を検討している分野についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

新分野へ進出を検討している事業者について、検討している分野については「サービス業」が 23.8%、「農業」が 19.0%、「林業」が 14.3%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 農業	8 件	19.0%
イ. 林業	6 件	14.3%
ウ. 漁業	0 件	0.0%
エ. 福祉介護	0 件	0.0%
オ. 産業廃棄物処理業	2 件	4.8%
カ. サービス業	10 件	23.8%
キ. その他	11 件	26.2%
無回答	13 件	31.0%
合計	42 社	-



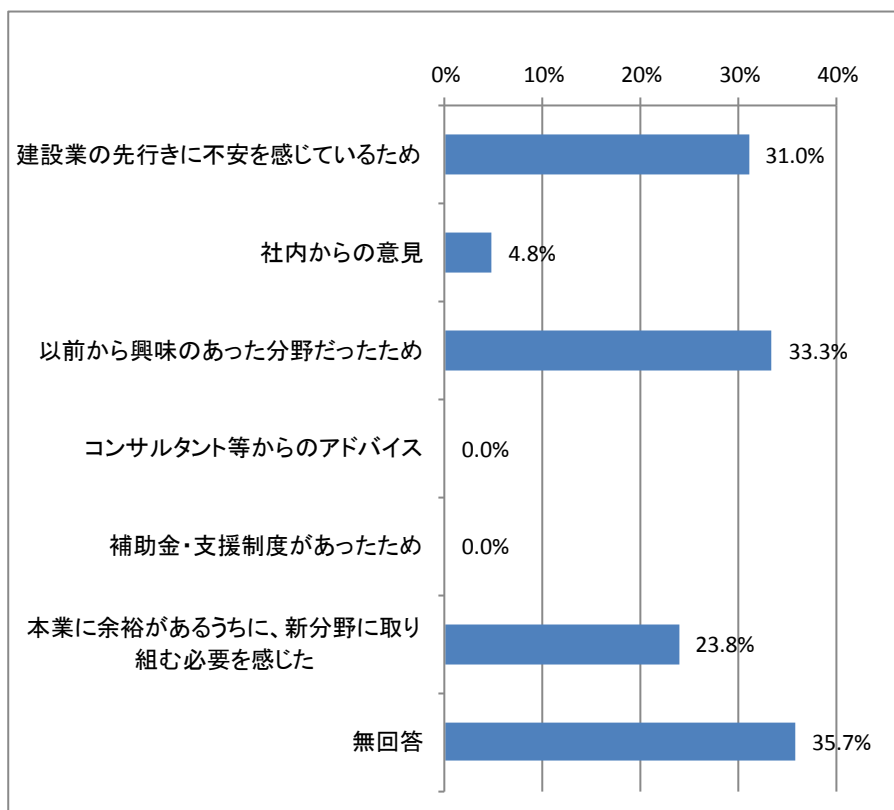


VI. 新分野へ進出を検討されている方への質問です

(2)進出を検討している理由、きっかけについてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

新分野へ進出を検討している事業者について、検討している理由・きっかけについては「以前から興味がある分野だったため」が 33.3%と最も多く、「建設業の行き先に不安を感じているため」が 31.0%、「本業に余裕があるうちに、新分野へ取り組む必要を感じた」が 23.8%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 建設業の先行きに不安を感じているため	13 件	31.0%
イ. 社内からの意見	2 件	4.8%
ウ. 以前から興味のある分野だったため	14 件	33.3%
エ. コンサルタント等からのアドバイス	0 件	0.0%
オ. 補助金・支援制度があったため	0 件	0.0%
カ. 本業に余裕があるうちに、新分野に取り組む必要を感じた	10 件	23.8%
無回答	15 件	35.7%
合計	42 社	-

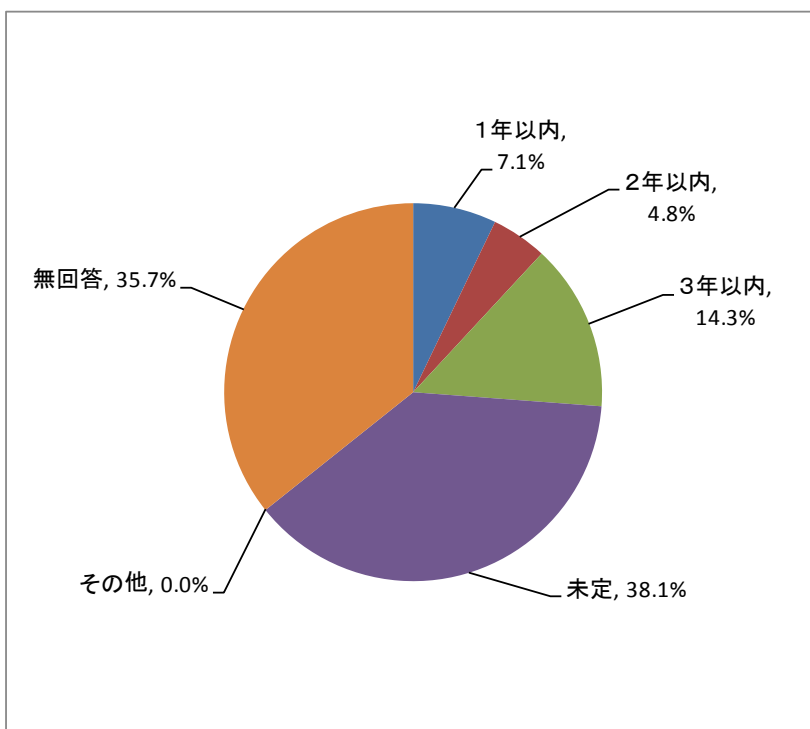


VI. 新分野へ進出を検討されている方への質問です

(3)何年以内の進出を考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

新分野へ進出を検討している事業者について、進出の時期については「未定」が38.1%と最も多く、新分野への進出を検討しているが、具体的な時期の検討までは至っていない事業者の割合が多いことがうかがえる。

結果	件数	構成比率
ア. 1年以内	3件	7.1%
イ. 2年以内	2件	4.8%
ウ. 3年以内	6件	14.3%
エ. 未定	16件	38.1%
オ. その他	0件	0.0%
無回答	15件	35.7%
合計	42件	100.0%

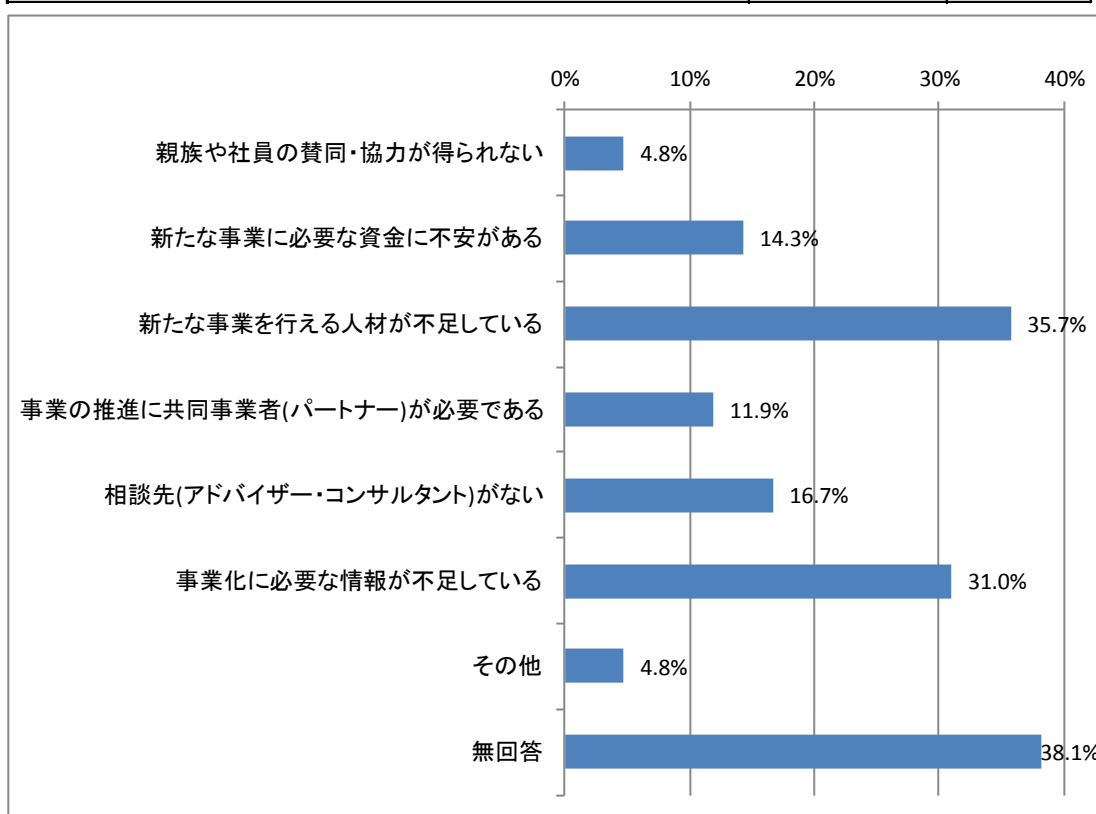


VI. 新分野へ進出を検討されている方への質問です

(4)進出を検討している上での課題についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

新分野へ進出を検討している事業者について、進出を検討する上での課題については、「新たな事業を行える人材が不足している」が 35.7%と最も多く、「事業化に必要な情報が不足している」が 31.0%、「相談先(アドバイザー・コンサルタント)がない」が 16.7%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 親族や社員の賛同・協力が得られない	2 件	4.8%
イ. 新たな事業に必要な資金に不安がある	6 件	14.3%
ウ. 新たな事業を行える人材が不足している	15 件	35.7%
エ. 事業の推進に共同事業者(パートナー)が必要である	5 件	11.9%
オ. 相談先(アドバイザー・コンサルタント)がない	7 件	16.7%
カ. 事業化に必要な情報が不足している	13 件	31.0%
キ. その他	2 件	4.8%
無回答	16 件	38.1%
合計	42 社	-



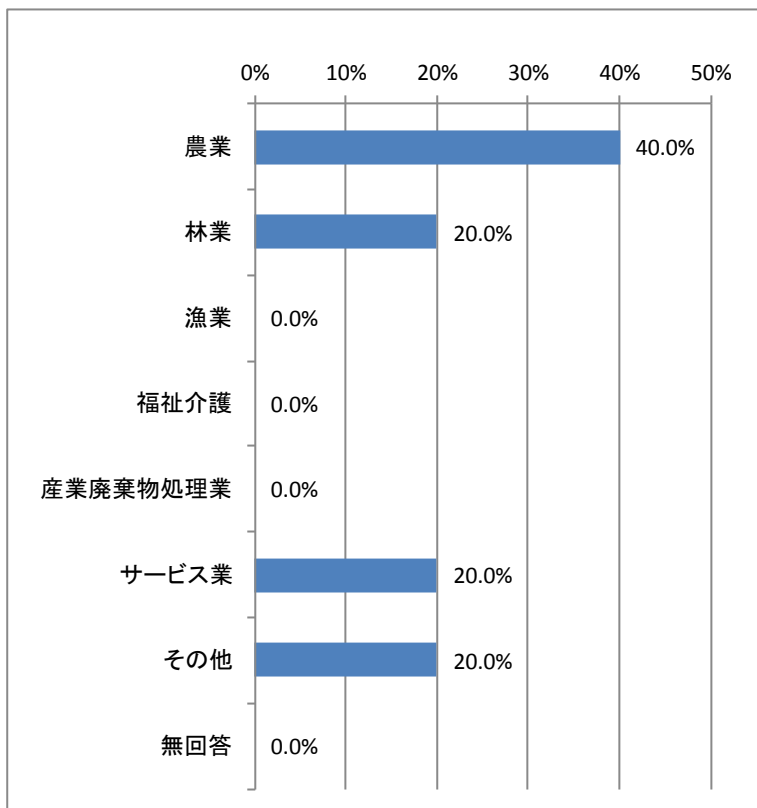
## VII. 新分野から撤退した企業の状況について（問Ⅱ-(5)で(ウ)と回答した場合）

VII. 新分野から撤退した方への質問です

(1)撤退した新分野についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

新分野から撤退した事業者について、撤退した分野については「農業」が40.0%、「林業」と「サービス業」が20.0%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 農業	2 件	40.0%
イ. 林業	1 件	20.0%
ウ. 漁業	0 件	0.0%
エ. 福祉介護	0 件	0.0%
オ. 産業廃棄物処理業	0 件	0.0%
カ. サービス業	1 件	20.0%
キ. その他	1 件	20.0%
無回答	0 件	0.0%
合計	5 社	-

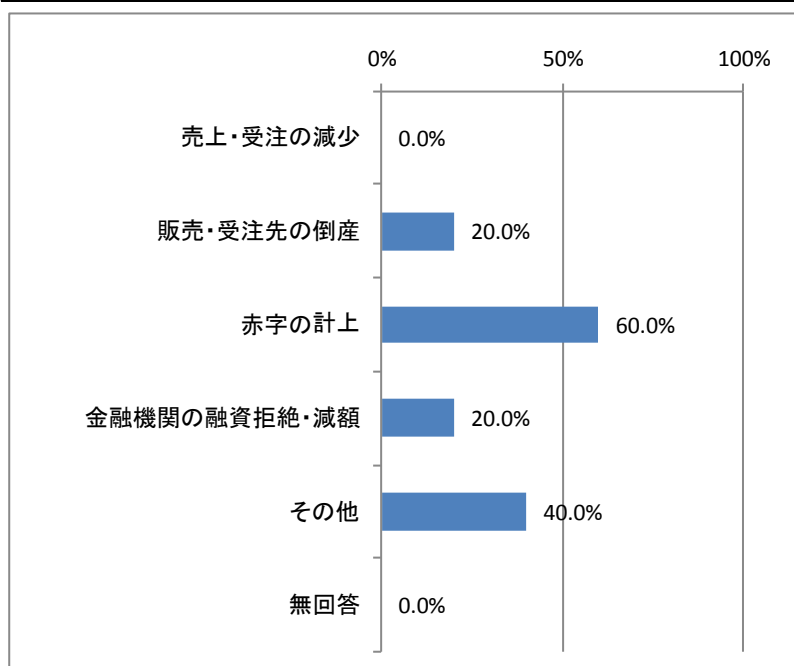


VII. 新分野から撤退した方への質問です

(2)撤退した理由についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

新分野から撤退した事業者について、撤退した理由については、「赤字の計上」が60.0%と最も多く、「販売・受注先の倒産」と「金融機関の融資拒絶・減額」が20.0%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 売上・受注の減少	0件	0.0%
イ. 販売・受注先の倒産	1件	20.0%
ウ. 赤字の計上	3件	60.0%
エ. 金融機関の融資拒絶・減額	1件	20.0%
オ. その他	2件	40.0%
無回答	0件	0.0%
合計	5社	-

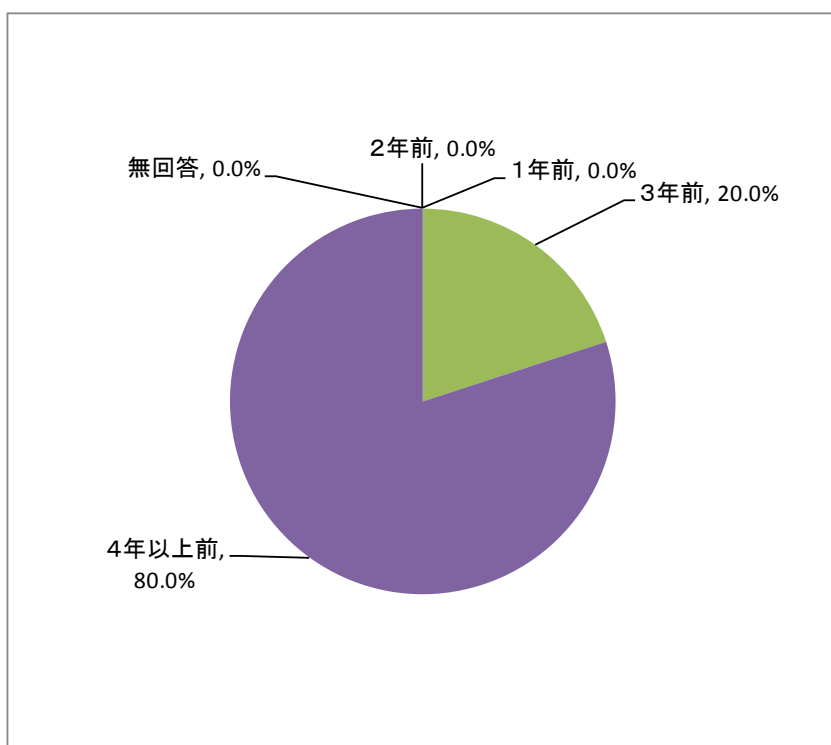


VII. 新分野から撤退した方への質問です

(3)新分野進出していた時期についてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

新分野から撤退した事業者について、新分野に進出していた時期については、「4年以上前」が80.0%と最も多くを占め、「3年前」が20.0%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 1年前	0件	0.0%
イ. 2年前	0件	0.0%
ウ. 3年前	1件	20.0%
エ. 4年以上前	4件	80.0%
無回答	0件	0.0%
合計	5件	100.0%



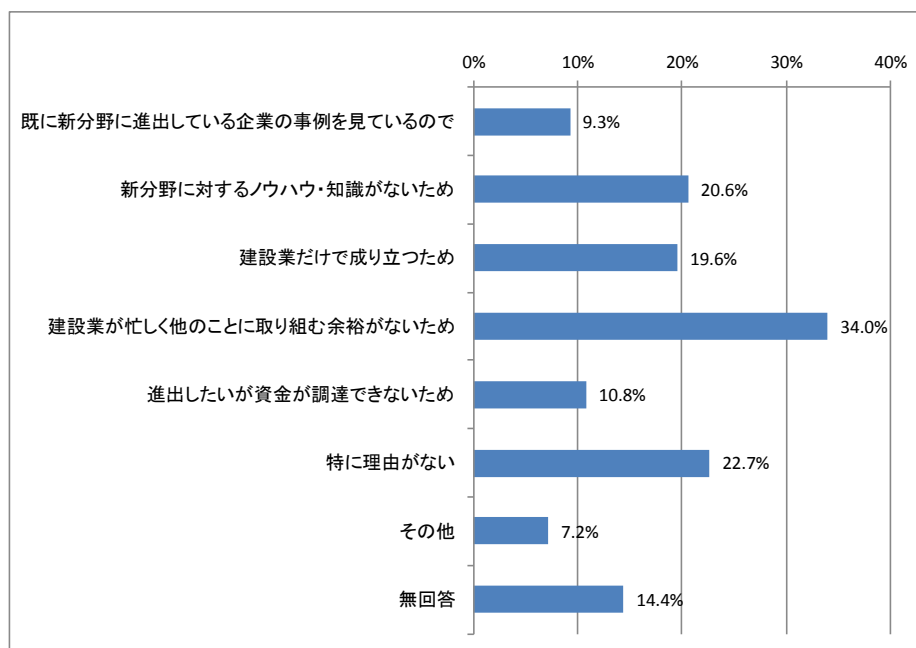
## VIII. 新分野への進出の意思がない企業の状況について（問Ⅱ-(5)で(エ)と回答した場合）

VIII. 新分野進出の意思が無い方に質問です

意思が無いのは、どのような理由でしょうか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

新分野への進出の意思が無い事業者について、その理由については、「建設業が忙しく他のことに取り組む余裕がないため」が34.0%と最も多く、「特に理由がない」が22.7%、「新分野に対するノウハウ・知識がないため」が20.6%と続いた。

結果	件数	構成比率
ア. 既に新分野に進出している企業の事例を見ているので	18 件	9.3%
イ. 新分野に対するノウハウ・知識がないため	40 件	20.6%
ウ. 建設業だけで成り立つため	38 件	19.6%
エ. 建設業が忙しく他のことに取り組む余裕がないため	66 件	34.0%
オ. 進出したいが資金が調達できないため	21 件	10.8%
カ. 特に理由がない	44 件	22.7%
キ. その他	14 件	7.2%
無回答	28 件	14.4%
合計	194 社	-

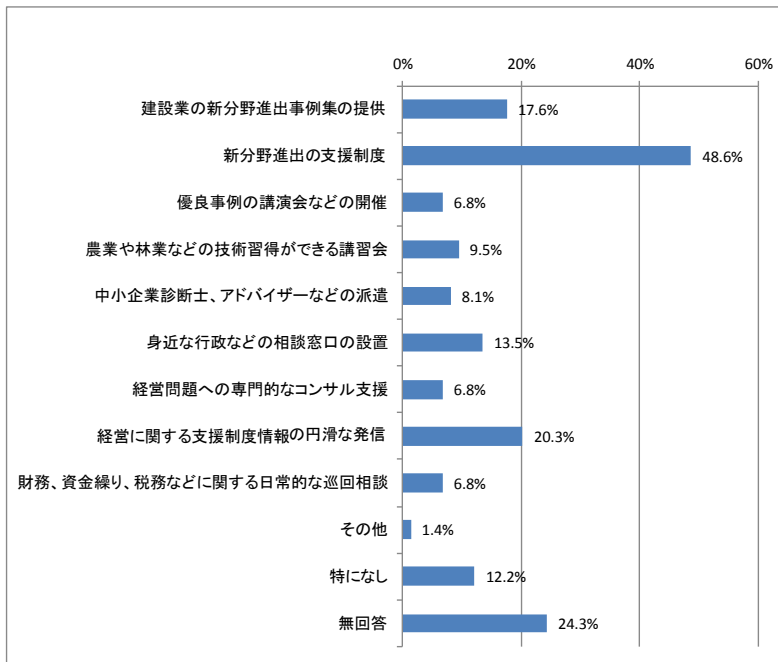


## IX. 新分野進出にあたり行政に望むことについて（問Ⅱ-(5)で（ア）または（イ）と回答した場合）

IX. 今後、新分野の進出にあたり、行政に望むことを教えてください  
 今後、行政に望む支援施策についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

既に新分野へ進出している事業者、または進出を検討している事業者が今後行政に望むことについては、「新分野進出の支援制度」が48.6%と最も多く、「経営に関する支援制度情報の円滑な発信」が20.3%、「建設業の新分野進出事例集の提供」が17.6%と続き、情報発信についての支援を行政に対して求めている事業者が多いことが伺える。

結果	件数	構成比率
ア. 建設業の新分野進出事例集の提供	13 件	17.6%
イ. 新分野進出の支援制度	36 件	48.6%
ウ. 優良事例の講演会などの開催	5 件	6.8%
エ. 農業や林業などの技術習得ができる講習会	7 件	9.5%
オ. 中小企業診断士、アドバイザーなどの派遣	6 件	8.1%
カ. 身近な行政などの相談窓口の設置	10 件	13.5%
キ. 経営問題への専門的なコンサル支援	5 件	6.8%
ク. 経営に関する支援制度情報の円滑な発信	15 件	20.3%
ケ. 財務、資金繰り、税務などに関する日常的な巡回相談	5 件	6.8%
コ. その他	1 件	1.4%
サ. 特になし	9 件	12.2%
無回答	18 件	24.3%
合計	74 社	-





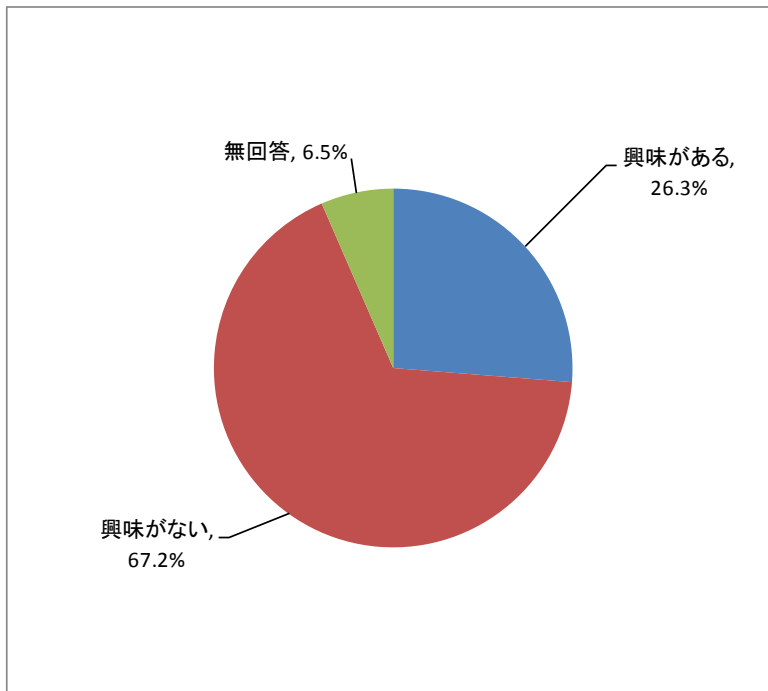
## X. 貴県の支援制度について

### X. 県の支援制度について

(1) 高知県建設業支援アドバイザー制度(建設業に係る者の新技術開発や経営改善、雇用環境改善などの様々な課題に対し、アドバイザーの派遣等を行い、指導及び助言を通じて建設業の活性化を支援する制度)という支援策があります。活用に興味はありますか？

支援策について興味がある企業は 26.3%、興味がない企業は 67.2%となった。

結果	件数	構成比率
ア. 興味がある	157 件	26.3%
イ. 興味がない	402 件	67.2%
無回答	39 件	6.5%
合計	598 件	100.0%

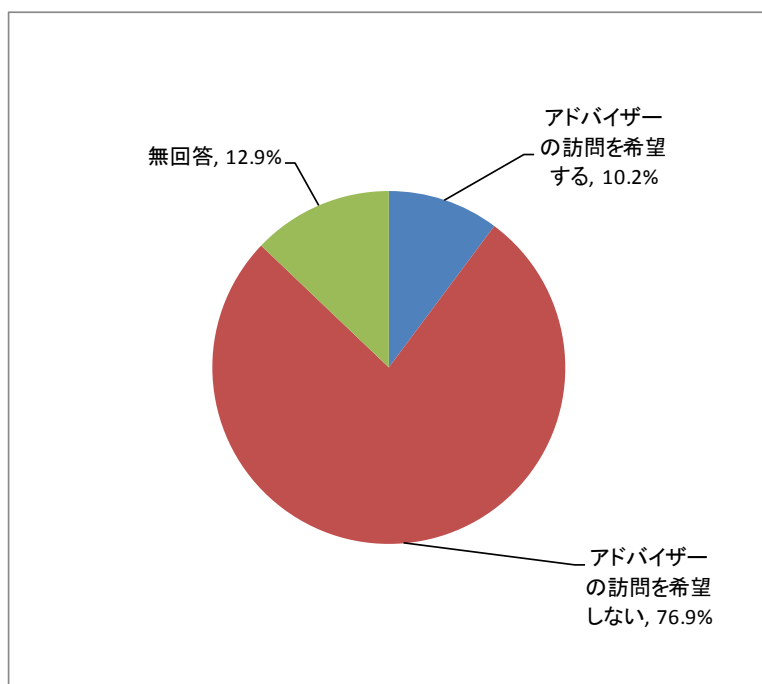


X. 県の支援制度について

2) 新分野への進出サポートをさせていただくための、建設業経営革新推進アドバイザーを設置しております。アドバイザーが貴社をご訪問させていただいてもよろしいでしょうか？

建設業経営革新推進アドバイザーについて訪問を希望する企業は 10.2%、訪問を希望しない企業は 76.9%となった。

結果	件数	構成比率
ア. アドバイザーの訪問を希望する	61 件	10.2%
イ. アドバイザーの訪問を希望しない	460 件	76.9%
無回答	77 件	12.9%
合計	598 件	100.0%



---

### 3. 総括

---

本調査は、高知県内の建設業者の経営革新、新分野への進出に関する取り組みについての状況を把握することを目的として実施した。

回答率は43.7%となり、貴県内建設業者の意識の高さがうかがえる。

調査結果について、環境の変化などに対応し、会社を成長させる取り組み全般を示す経営革新の取り組み状況は、「経営革新に取り組んでいる企業」「経営革新に意向がある企業」を合わせて48.6%となっているように意欲的な姿勢が明らかになった。

一方で、新分野への進出については、「新分野進出に取り組んでいる企業」「新分野進出に意向がある企業」を合わせても12.4%と、新分野進出に取り組んでいる企業は少ないことが分かった。

新分野へ進出しない理由については、「建設業が忙しく他のことに取り組む余裕がないため」や「新分野に対するノウハウ・知識がないため」などの回答が目立ち、新分野へ進出した企業、および進出を検討している企業においても、「販路の開拓」や「必要な人材の不足」「従業員の教育、訓練」などの課題を抱えている。

行政に対しては「建設業の新分野進出事例集の提供」や「経営に関する支援制度情報の円滑な発信」など、情報発信に関する支援を求めている事業者が多いことが分かった。

また、貴県の支援制度について興味がある企業が26.3%（157社）、さらに実際にアドバイザーの派遣を希望する企業も10.2%（61社）あった。

今後も、企業の経営革新への強い意欲を活かし、県内建設業者の振興のため、行政の更なる支援が求められている。

## 4. 調査票

### 建設業に関するアンケート調査票

【ご回答いただくにあたり】

・平成28年7月5日(火)までに、記入・返送をお願いいたします。

※ 本調査で収集しましたデータは、事業経営に沿った分析・活用のためのみに使用し、他の目的には一切使用いたしません。

#### I. 貴社概要についてお答え下さい

(1)貴社名 _____	(5)電話番号 _____
(2)ご記入者 _____	(6)年間売上(建設業によるもの) _____百万円
(3)従業員数 _____人	(7)年間売上(新分野進出によるもの) _____百万円
(4)住所 _____	

(8)業種 あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

(ア)土木一式工事	(イ)建築一式工事	(ウ)大工工事
(エ)左官工事	(オ)とび土工事	(カ)石工事
(キ)屋根工事	(ク)電気工事	(ケ)管工事
(コ)タイルれんが工事	(サ)鋼構造物工事	(シ)鉄筋工事
(ス)舗装工事	(セ)しゅんせつ工事	(ソ)板金工事
(タ)ガラス工事	(チ)塗装工事	(ツ)防水工事
(テ)内装工事	(ト)機械器具設置工事	(ナ)熱絶縁工事
(ニ)電気通信工事	(ヌ)造園工事	(ネ)さく井工事
(ノ)建具工事	(ハ)水道施設工事	(ヒ)消防施設工事
(フ)清掃施設工事	(ヘ)解体工事	

#### II. 貴社の現状についてお答え下さい

(1)貴社の3年前と比べた建設業の状況についてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

a 従業員数	増加 ・ 横ばい ・ 減少
b 売上高	増加 ・ 横ばい ・ 減少
c 設備投資	増加 ・ 横ばい ・ 減少

(2)貴社の建設業の見通しについてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

(ア)規模拡大する	(イ)現状維持	(ウ)規模縮小する
(エ)廃業を検討している	(オ)わからない	

(3)貴社の建設業での課題についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

(ア)人手不足	(イ)工事の減少	(ウ)人材育成	(エ)ノウハウの継承	(オ)新規顧客の開拓
(カ)売上の低下	(キ)資金調達	(ク)事業継承	(ケ)その他( )	

(4)貴社の経営革新の取り組みについてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

(ア)経営革新に取り組んでいる	(→ 【設問】Ⅲ・X のみお答え下さい。)
(イ)経営革新に意向がある	(→ 【設問】Ⅳ・X のみお答え下さい。)
(ウ)経営革新の意志がない	(→ 【設問】X のみお答え下さい。)

(5) 貴社の新分野進出の取り組みについてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- |                                         |
|-----------------------------------------|
| (ア)新分野進出に取り組んでいる (→【設問】V・IX・Xのみお答え下さい。) |
| (イ)新分野進出に意向がある (→【設問】VI・IX・Xのみお答え下さい。)  |
| (ウ)新分野に進出したが撤退した (→【設問】VII・Xのみお答え下さい。)  |
| (エ)新分野進出の意志がない (→【設問】VIII・Xのみお答え下さい。)   |

### Ⅲ. 貴社の経営革新への取り組みについてお答え下さい

経営革新とは、環境変化などに対応し、企業を成長させるための取り組みを示します。

現在、取り組んでいる経営革新に該当するものについてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- |                                  |               |
|----------------------------------|---------------|
| (ア)新しいサービスの創出                    | (イ)新工法・新技術の開発 |
| (ウ)経営分析(財務分析)による、財務体質の改善(原価管理含む) | (カ)その他( )     |
| (エ)現在行っている不採算事業の再編               | (オ)新たな販路の開拓   |

### Ⅳ. 貴社の経営革新への今後の取り組みについてお答え下さい

貴社が検討している経営革新に関連するものについてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- |                                  |               |
|----------------------------------|---------------|
| (ア)新しいサービスの創出                    | (イ)新工法・新技術の開発 |
| (ウ)経営分析(財務分析)による、財務体質の改善(原価管理含む) | (カ)その他( )     |
| (エ)現在行っている不採算事業の再編               | (オ)新たな販路の開拓   |

### Ⅴ. 新分野へ進出している方への質問です

(1)進出している分野についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- |             |             |           |         |
|-------------|-------------|-----------|---------|
| (ア)農業       | (イ)林業       | (ウ)漁業     | (エ)福祉介護 |
| (オ)産業廃棄物処理業 | (カ)サービス業( ) | (キ)その他( ) |         |

(2)進出した理由、きっかけについてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- |                      |                               |
|----------------------|-------------------------------|
| (ア)建設業の先行きに不安を感じたため  | (イ)社内からの意見                    |
| (ウ)以前から興味のあった分野だったため | (エ)コンサルタント等からのアドバイス           |
| (オ)補助金・支援制度があったため    | (カ)本業に余裕があるうちに、新分野に取り組む必要を感じた |

(3)進出に活用できた経営資源についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- |           |                |           |         |
|-----------|----------------|-----------|---------|
| (ア)建設機械設備 | (イ)技術          | (ウ)知識     | (エ)ノウハウ |
| (オ)遊休資産   | (カ)従業員の有する特殊技能 | (キ)その他( ) |         |

(4)進出によって得られたメリットについてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- |                  |               |              |
|------------------|---------------|--------------|
| (ア)閑散期の人材有効活用    | (イ)会社全体の利益の増加 | (ウ)会社イメージの向上 |
| (エ)社員のモチベーションの向上 | (オ)その他( )     |              |

(5)新分野事業の経営状況についてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| (ア)事業単位で採算は取れている  | (イ)採算が取れていない      |
| (ウ)今後採算が取れる見通しである | (エ)今後採算が取れる見通しはない |

(6)事業単位で採算が取れていない・見通しが無い理由についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

(ア)売上・受注の減少	(イ)販売・受注先の倒産	(ウ)赤字の計上
(エ)金融機関の融資拒絶・減額	(オ)その他( )	

(7)進出した上での課題についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

(ア)販路・顧客の開拓	(イ)採算の見込みが立ちにくい	(ウ)資金調達の困難
(エ)従業員教育、訓練	(オ)必要な人材の不足	(カ)事業が不安定
(キ)その他( )		

#### VI. 新分野へ進出を検討されている方への質問です

(1)進出を検討している分野についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

(ア)農業	(イ)林業	(ウ)漁業	(エ)福祉介護
(オ)産業廃棄物処理業	(カ)サービス業( )	(キ)その他( )	

(2)進出を検討している理由、きっかけについてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

(ア)建設業の先行きに不安を感じているため	(イ)社内からの意見
(ウ)以前から興味があった分野だったため	(エ)コンサルタント等からのアドバイス
(オ)補助金・支援制度があったため	(カ)本業に余裕があるうちに、新分野に取り組む必要を感じた

(3)何年以内の進出を考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

(ア)1年以内	(イ)2年以内	(ウ)3年以内	(エ)未定
(オ)その他( )			

(4)進出を検討している上での課題についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

(ア)親族や社員の賛同・協力が得られない	(イ)新たな事業に必要な資金に不安がある
(ウ)新たな事業を行える人材が不足している	(エ)事業の推進に共同事業者(パートナー)が必要である
(オ)相談先(アドバイザー・コンサルタント)がない	
(カ)事業化に必要な情報が不足している	
(キ)その他( )	

#### VII. 新分野から撤退した方への質問です

(1)撤退した新分野についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

(ア)農業	(イ)林業	(ウ)漁業	(エ)福祉介護
(オ)産業廃棄物処理業	(カ)サービス業( )	(キ)その他( )	

(2)撤退した理由についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

(ア)売上・受注の減少	(イ)販売・受注先の倒産	(ウ)赤字の計上
(エ)金融機関の融資拒絶・減額	(オ)その他( )	

(3)新分野進出していた時期についてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

(ア)1年前	(イ)2年前	(ウ)3年前	(エ)4年以上前
--------	--------	--------	----------

**Ⅷ. 新分野進出の意志が無い方に質問です**

意志が無いのは、どのような理由でしょうか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

(ア)既に新分野に進出している企業の事例を見ているので
(イ)新分野に対するノウハウ・知識がないため
(ウ)建設業だけで成り立つため
(エ)建設業が忙しく他のことに取り組む余裕がないため
(オ)進出したいが資金が調達できないため
(カ)特に理由がない
(キ)その他( )

**Ⅸ. 今後、新分野の進出にあたり、行政に望むことを教えて下さい**

今後、行政に望む支援施策についてあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

(ア)建設業の新分野進出事例集の提供	(イ)新分野進出の支援制度
(ウ)優良事例の講演会などの開催	(エ)農業や林業などの技術習得ができる講習会
(オ)中小企業診断士、アドバイザーなどの派遣	(カ)身近な行政などの相談窓口の設置
(キ)経営問題への専門的なコンサル支援	(ク)経営に関する支援制度情報の円滑な発信
(ケ)財務、資金繰り、税務などに関する日常的な巡回相談	
(コ)その他( )	(サ)特になし

**Ⅹ. 県の支援制度について**

(1) 高知県建設業支援アドバイザー制度(建設業に係る者の新技術開発や経営改善、雇用環境改善などの様々な課題に対し、アドバイザーの派遣等を行い、指導及び助言を通じて建設業の活性化を支援する制度)という支援策があります。活用に興味はありますか？

(ア) 興味がある	(イ) 興味がない
-----------	-----------

(2) 新分野への進出サポートをさせていただくための、建設業経営革新推進アドバイザーを設置しております。アドバイザーが貴社をご訪問させていただいてもよろしいでしょうか？

(ア) アドバイザーの訪問を希望する	(イ) アドバイザーの訪問を希望しない
--------------------	---------------------

(3) (1)または(2)で(ア)を選択した場合、連絡先と担当者のお名前をご記入下さい。

部署名	_____
ご担当者様名	_____
ご連絡先	_____